

特定非営利活動法人 はだしのゲンをひろめる会

NPO “Barefoot Gen” Promotion Group



<事務所> 特定非営利活動法人 はだしのゲンをひろめる会
〒921-8112 石川県金沢市長坂 3-10-20 浅妻方
TEL/FAX 076-242-6559
URL <http://hadashinogen.jp/>

設立趣意書

唯一の被爆国日本に生まれ育った私たちは、再び被爆者をつくらないため、あらゆる手段を使って世界中の人々に核兵器の非人道性を伝えなければなりません。これまで被爆者のみなさんが国内外で被爆の実相を証言してきましたが、高齢化を迎える中で若い世代への活動の引き継ぎが急務となっています。その意味で核兵器の残酷さと平和の大切さを描いた漫画『はだしのゲン』（中沢啓治作/全10巻）の果たす役割は大きいといえます。

ゲンがはだしで5大陸をかけめぐり自らの被爆体験を語りかけるとき、読者はゲンを通して被爆の実相を理解し、苦境のなかユーモアを忘れず、たくましく生き抜くゲンに共感することでしょう。ゲンの物語に耳を傾ける若者が多くなればなるほど、私たちは未来に核兵器廃絶への希望を見出すことができます。

私たちは核兵器廃絶の願いをになって今日もはだしで世界をかけめぐるゲンの旅が、多くの実りをもたらすことを念じて『はだしのゲン』を国内外にひろめることに尽力します。
(はだしのゲンをひろめる会設立趣意書より抜粋)



『はだしのゲン』の作者 中沢啓治さんから本会設立総会に寄せられたメッセージを紹介します。

皆様、会の設立、おめでとうございます。

『はだしのゲン』が英語版や各国語に翻訳され始め、ゲンがはだしで世界を闊歩しています。

ゲンは地球上を何百回、何千回もはだしでかけめぐり、愚かな戦争と核兵器を無くすためにガンバル決心でございます。また、世界平和と核兵器反対が少しでも多くの人に理解されるよう、『はだしのゲン』がしっかりと役目を果たしてくれることを願っています。

皆さん、ゲンに力を貸してやってください。ゲンはたくましく生き抜いていくでしょう。お

互いを合わせて頑張りましょう。

よろしく願い致します。

2012年12月9日 中沢啓治

「はだしのゲン」寄贈実績

本会は2013年5月にNPO法人の設立登記後、これまで実績のあるプロジェクト・ゲンやNPO法人ANT・Hiroshimaなどの協力を得て、次の10か国の方々に日本語版(10巻)3セット、英語版(10巻)24セット、ロシア語改訂版(1,2巻)10冊を寄贈しました。

<寄贈先>

- ・ウズベキスタンの日本語学校支援団体
- ・アメリカのジャーナリスト
- ・フィリピン共和国大使館
- ・ネパールの脳神経外科医、社会活動家
- ・アフガニスタンのユニタールアジア太平洋事務所職員
- ・国際国連大学
- ・ピースボートおりづる大使
- ・ラトビア
- ・ロシア
- ・ベラシール日本国大使館広報文化部
- ・公益財団法人AFS日本協会東海支部
- ・JICA中国

◎寄贈先はHPに随時アップしていきます。

NPO法人はだしのゲンをひろめる会の活動内容

小中学校や公立図書館に漫画『はだしのゲン』を普及する事業、『はだしのゲン』の英語版『Barefoot Gen』を国内外に普及する事業を行うほか、核兵器廃絶を求める個人、団体、自治体等と協力し、原爆被害の実相と核兵器の非人道性を伝える事業を展開しています。

<活動の柱>

- (1)『はだしのゲン』を小中学校に普及する事業
- (2)『Barefoot Gen』を国内外に普及する事業
- (3)原爆被害の実相と核兵器の非人道性を伝える事業
- (4)核兵器廃絶を求める個人、団体、自治体等と協力する事業
- (5)会の活動状況や原爆資料に関する情報提供等の広報事業
- (6)会の賛同者、賛同団体の募集事業 など



本会のロゴマーク

平和首長会議に支援要請のため 広島平和文化センターを訪問



2014年6月2日、本会役員が『はだしのゲン』の寄贈・普及への支援要請のため、平和首長会議（事務局：公益財団法人広島平和文化センター）を訪問してきました。平和首長会議には2014年6月1日現在で158カ国6,084都市が加盟しており、同事務局では運営体制を強化するため被爆70周年の2015年中までに30カ所のリーダー都市の確保を目指しています。このため小溝泰義事務総長（写真左）を先頭にほぼ毎月海外出張されており、

『Barefoot Gen』の寄贈・普及にも留意したいとの意向を表明いただきました。今回の支援要請により、平和首長会議の加盟各都市に『はだしのゲン』、『Barefoot Gen』を寄贈・普及するという新たな展開が期待できることになりました。

**はだしのゲンをひろめる会では
応援してくださる方を募っています。**

- 年会費
（正会員）個人 5,000円／団体 20,000円
（賛助会員）個人 3,000円／団体 10,000円
- 郵便振替口座 00760-6-40516
- 加入者名 「はだしのゲン」をひろめる会

◎はだしのゲンをひろめる会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までです。

◎会員にご入会くださる場合、会員の種類・連絡先をご記入のうえ、上記郵便振替口座までお振込みをお願いします。

◎『はだしのゲン』寄贈募金も随時受け付けています。

◎ご不明の点がありましたらお気軽にお問合せください。

私たちも応援します

NPO法人はだしのゲンをひろめる会・賛同人 (50音順)

前広島市長 秋葉忠利さん

「『過去を記憶できないものは、その過去を繰り返す運命を背負わされる』という言葉があります。戦争による悲劇を繰り返さないためには、過去の戦争の記憶を大切に受け継ぐことから始めなくてはなりません。中沢啓治さんの『はだしのゲン』を世界中の子どもたちに読んでもらうことは、未来の世代が核兵器のない平和な世界を創造するためのエネルギー源になるはずです。」

映画監督 石田優子さん

「ひろめる会の活動がさらにさらに広がることを心よりお祈り申し上げます。」

日本原水爆被害者団体協議会代表委員 岩佐幹三さん

「あの日、原爆孤児になった私には、ゲンは他人事とは思えません。ゲンはさまざまな被爆者の苦悩と重荷を背負って原爆被害とたたかい続けたシンボリック的存在だと思います。核兵器のない世界を築くためにも国の内外に広く普及されることを願っています。」

歌手 加藤登紀子さん

「『はだしのゲン』の生きることへの強い思いを、是非これから生きる世代に伝えたい！中沢啓治さんの遺作となった詩に、山本加津彦さんが作曲、私が歌った『広島 愛の川』を2014年6月25日にCD発売します。是非みなさん歌って下さい。」

講談師 神田香織さん

「私は『はだしのゲン』を講談にして今年で28年語っています。子どもがたくましく生きていくためには欠かせない“教材”だと思っています。それを教育委員会が閲覧制限する時代となっていました。時代が大きく変化し始めています。中沢さんの意思を継ぎ、『はだしのゲン』をさらに広げていきましょう！」

前広島平和文化センター理事長 スティーブン・リーパーさん

◎米国イリノイ州生まれ。翻訳家、平和運動家を経て2002年平和市長会議米国代表、2003年公益財団法人広島平和文化センター専門委員、2007年4月から2013年3月まで同センター理事長。2014年4月に『2020年東京オリンピック 日本が世界を救う一核をなくすベストシナリオ』を出版。

女優 長内美那子さん（「夏の会」メンバー）

◎朗読劇『この子たちの夏』の演劇制作体「地人会」の解散に伴い、この公演に出演してきた18人の女優が集まり2008年3月、「夏の会」を立ち上げ、朗読劇『夏の雲は忘れない 1945・ヒロシマ ナガサキ』の公演活動を続けている。

女優 柳川慶子さん（「夏の会」メンバー）

「核兵器廃絶、原発即時ゼロを願う思いを伝えるのに『はだしのゲン』を読んでもらう、映画、演劇、音楽、絵画を介して思いを伝える道は色々あると思います。この行動は休んではいけないのです。大人から子供まで常に自分の問題として行動してもらえよう皆様各々の表現で継続してください。私は『夏の雲は忘れない』の朗読劇を細く永く継続したいと願っています。」

女優 山口果林さん（「夏の会」メンバー）

「世界中の子供たちが瑞々しい目で『はだしのゲン』と向き合い、感じてほしいと心から願っています。」

女優 吉永小百合さん

◎映画女優。27年前に原爆詩と出会い、『夢千代日記』の主人公を演じたことなどをきっかけに、原爆詩を語り継いでいきたいという思いで朗読のCDを制作。峠三吉さんの『にんげんをかえせ』や栗原貞子さんの『生ましめんかな』等の原爆詩朗読会を続けている。

